



▲帰りの空港にて



▲サンフランシスコ・ジャイアンツ球場にて



▲ゴールデンゲートブリッジにて

海外派遣で 感じたこと

アメリカで生活を体験した芳賀中生徒の代表5人に発見したこと・心に残ったことなどを聞いてみました。

また芳賀町では、国際理解や英語力の向上のために次のような事業を行っています。

- 中学生海外派遣事業
平成7年度から開始
延べ中学生317人が参加
- ALT (外国語指導助手)・JET (日本人外国語教師)の小中学校への派遣
- 芳賀チャンネルでの英語番組
・Fun Fun English・英語補充講座



3年4組
菅谷穂乃果

アメリカと日本では扉の開け閉めが逆だったり、お風呂の入り方や食事が異なりました。一番違いを感じたのは中学生の制服です。アメリカの中学校ではそれぞれ自分の好きな服を着ていました。私はアメリカは人の個性を大切にしている国であることを感じました。



3年3組
星出翔太郎

異国の地での体験は驚きの連続でした。アルバニーミドルスクールでの交流会では、日本の文化を伝えることができたと思います。ホームステイでは、ファミリーと仲良くなり、お別れのはとても辛かったです。この事業で、日本とは違う風景、習慣に触れることができました。



2年4組
小林 未香

一番良い経験ができたと思うことは、アルバニーミドルスクールでの交流会です。交流会で、私は花札を学校のみんなに教えたのですが、英語での説明は難しく、語学力の未熟さを感じました。これから、しっかり勉強して、もっと英会話ができるようになりたいです。



2年2組
大林 菜摘

アメリカのスーパーでは、肉やあらゆる商品が非常に大きくて驚きました。お菓子はとても甘く、食事の味も濃かったです。一度の食事の量も多くて食べきれないのが大変でした。また、初対面でも積極的に声をかけ、「Yes.」や「No.」がはっきりしていました。私も見習いたいと思いました。



2年1組
綱川 琴絵

アルバニーミドルスクール訪問で、言葉が違っているとコミュニケーションが大変だということも身をもって感じました。しかし、一生懸命に言葉を伝えようとしてくれる学校のみんなを見ていて、国は違っても同じ中学生なんだなと思いました。



団長 古塚秀一校長

わずか9日間でしたが、生徒たちはアメリカでの生活のほか、大統領選挙運動の様子も経験できました。心が柔軟な中学生の時期に、このような体験をしたことは素晴らしいことで、海外派遣の目的を十分達成することができました。生徒にはこの成果を今後の学校生活や社会生活に生かし、国際感覚をもった芳賀町を担う人材になってくれることを願います。

また、このような機会を与えてくれた芳賀町・町教育委員会の皆さまには心から感謝いたします。



▲アルバニーミドルスクール交流会

◎海外派遣研修日程◎

11/1	芳賀中出発・成田空港発
11/1 (現地時間)	サンフランシスコ空港着 市内見学
11/2	アルバニーミドルスクール (中学校) で交流会・授業参加
11/2~4	ホームステイ (ホストファミリーと共に過ごす)
11/5	アルバニーミドルスクールで授業参加、市内見学
11/6	班別自由行動 (3グループ)
11/7	市内周辺観光
11/8	サンフランシスコ空港発
11/9 (日本時間)	成田空港着・芳賀中到着

11月1日から9日までの9日間、第18回中学生海外派遣事業が実施されました。派遣先は、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコです。
この事業は、外国の風土や文化に触れることで国際的な視野を養い、異なった背景をもつ地域と触れ合うことにより郷土芳賀町の長所や魅力を再認識することなどを目的としています。海外派遣事業の概要と芳賀中学校から参加した皆さんの感想を紹介します。

第18回芳賀町 中学生海外派遣事業報告

11月1日~9日

◎海外派遣参加者◎

1	鈴木 綾華
2	猪瀬廉太郎
3	谷島 彩音
4	星出翔太郎
5	菅谷穂乃果
6	高松 彩夏
7	綱川 琴絵
8	稲川 聖也
9	大林 菜摘
10	廣田 和希
11	北條 真衣
12	山本 和宏
13	和久晋太郎
14	薄根 楓
15	豊田 理桜
16	小林 未香
団長	古塚 秀一校長
引率	塚田 浩久教諭
引率	篠原めぐみ教諭



▲上:ロンバートストリート
下:グレース大聖堂



▲海外派遣結団式



▲ホストファミリーとの交流